



佐藤良行 議員

市民プールは早急な補修が必要ではないか

問

市民プールについて、南側の窓の変形、天井の雨漏り、全体の塗装はがれ等、早急な補修が必要ではないか。

修繕は屋根上での高所作業が伴い、まとめて修理した方が費用が安いと思う。予算編成を控え、検討すべき時期にあるのではないか。

できるだけやっつけていきたいと思います

答 教育長

財政当局とも相談し、できるだけやっつけていきたいと思います。

問

次の各施設について尋ねる。

(1) 南部コミュニティセン

◀市民プール



ターグラウンドの防球ネットの3分の1が切れている。至急交換しないと倒壊の危険性があると思うがどうか。
 (2) 駐車場がない水明テニスコートについて、新設が必要ではないか。
 (3) 熱中症対策として、来年の夏までに文化広場等に屋根付きベンチ設置を予算化してはどうか。

答 社会教育課長

(1) 早急に対応を考えた。 (2) 今後は関係課等と調整を図りながら、用地確保に向けて早急に対応を考えていきたい。

答 教育長

(3) 財政当局と相談の上、順次進めるようにする。

地域防災組織の組織数は

問

次の防災対策について尋ねる。

(1) 各企業との災害協力協定の状況。
 (2) 水害を想定した高台地域を含めた、近隣市町村との災害協力協定の状況。
 (3) 地域防災組織の数、学区別の組織率、市の計画に対する進捗率は。

答 防災安全課長

(1) サービス業関係では6企業と災害協力協定を締結してきた。内容は、避難場所・食料・衣料品等の提供である。

応急復旧関係は、市建設業協力会と協定を締結済みである。

現在、市商工会とも協議を進めており、今後も前向きに進めていきたい。

(2) 近隣市町村とは「海部地方消防相互応援協定」を、県内市町村・一部事務組合とは「一般廃棄物処理に係る災害相互応援に関する協定」を締結している。

高台地域との協定は必要性は感じているので今後考えていく。

(3) 9月10日現在、25地区である。学区別では弥生7、桜5、大藤3、栄南1、白鳥6、十四山地区3である。市の計画はもちろん組織率100%を目指す、世帯ベースで計算すると56%の組織率である。

25地区で世帯ベース56%の組織率である